

## 第86回新生ふくしま復興推進本部及び第9回福島イノベーション・コースト構想推進本部 合同会議 議事録

- 日時：平成30年12月25日（火）9：00～9：10
- 場所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

### 【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

議題、「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

福島県総合計画「ふくしま新生プラン」の着実な推進を図るため、今年度の施策の取組状況について、総合計画審議会において御審議をいただき、11月に知事に対して意見の具申がなされたところであります。

本日は、審議会の意見に対する県の対応方針を決定したいと考えております。

資料1を御覧ください。

左側に総合計画審議会からの意見を、右側にそれに対応する県の対応方針を案として示しております。

本日は、主なもの2つについて御説明いたします。

1つ目は、「活力」でございます。

「1 風評払拭とブランド力向上に向けた取組の推進」の分野では、審議会より「風評払拭のための正確な情報と県産農産物の魅力の更なる発信が必要」、「国内外にアピールできる、魅力ある商品の開発・販売への支援が必要」という御意見を頂きました。

県の対応方針としましては、「放射性物質検査結果の正確な発信や、GAP等の取組による県産品の品質の高さとおいしさの効果的な発信」、さらには「「ふくしまプライド。」をアピールする魅力ある商品開発への支援や効果的なプロモーションによる県産品の販路拡大」を進めていくこととしたいと思っております。

2つ目は、「安全と安心」でございます。

「2 健康づくり・健康増進に向けた取組の推進」の分野では、審議会より「本県の自然、文化、豊かな食材など多彩な地域資源をいかし、社会参加を進めることによる健康づくりの推進、健康寿命の延伸が必要」という御意見を頂きました。

県の対応方針としましては、「適切な食習慣の普及・啓発、気軽に取り組める健康づくり事業、高齢者の運動習慣や社会参加の機会づくり等により、

健康指標の向上と健康寿命の延伸」を目指していくこととしたいと思っております。

なお、本日の案が決定となりました後は、各部局において当初予算への反映を行い、審議会に対して反映状況を報告する予定でございます。

以上です。

#### 【鈴木副知事】

今の説明について、何か御意見等ありますか。

なければ、本案をもって決定といたします。

次に、報告事項の1つ目「平成31年度政府予算案等」、報告事項の2つ目「ふくしま復興のあゆみ」について、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

平成31年度政府予算案について報告します。

政府予算対策については、6月の政府要望、8月の復興再生協議会、さらに、11月の緊急要望を始め、知事を筆頭に全庁を挙げて取り組んでまいりました。

資料2-1を御覧ください。

12月21日に閣議決定された政府予算案について、資料左側が本県からの要請事項、真ん中が政府予算案の計上額、右側は予算が本県においてどのように活用されるかを記載したものであります。

特に、避難地域等の生活環境整備や、特定復興再生拠点に係る予算のほか、風評払拭・風化防止対策の強化、避難解除区域等における課税の特例の延長など、本県の要望を踏まえた対応が図られました。

それぞれ、右の欄に主な活用を掲げたところでありますが、市町村等と連携しながら、多岐にわたる課題に対し、地域の実情を踏まえ柔軟に対応していくことが求められます。

資料2-2を御覧ください。

福島イノベーション・コースト構想関連予算について、主なものをまとめたものです。

引き続き、関係機関等と連携し、構想の具体化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

予算案は、来月招集される予定の通常国会に提案されることとなりますが、各部局におかれては、福島県全体の復興・創生を更に加速させるよう、引き続き、各省庁の動きを的確に捉えて対応するようお願いいたします。

続いて、「ふくしま復興のあゆみ」について報告します。

「ふくしま復興のあゆみ」は概ね四半期ごとに更新しており、前回は8月6日に発行いたしました。

今回の24版については、全体的に数値の更新等を行いました。主なとこ

ろを御説明いたします。

10ページ、県産農林水産物のモニタリング等の状況について、本年4月1日～10月31日の検査結果で更新しております。

海産魚介類のモニタリング検査について、平成23年度以降の結果をグラフで図示しております。

県産水産物の安全性の発信～福島鮮魚便～について、記事を更新しております。

次に18ページのトピックについて、11月に開催された世界水族館会議の記事で更新しております。

また、Jヴィレッジの記事について、9月に全天候型練習場がオープンした旨を追記しております。

続いて、資料3-2「新生ふくしま2020年に向けて」につきましても、新たに「ここなら笑店街」や「小高ストア」を追加するなど、各拠点・取組について追加や時点更新を行っております。

以上です。

#### 【鈴木副知事】

続いて、報告事項の3つ目「財務事務の適正化」について、総務部長。

#### 【総務部長】

資料4を御覧ください。

財務事務の適正化についてであります。重点事業について、今年度第2四半期までの予算執行状況の確認を行いました。

執行率は60.1%と前年度より上昇しておりますが、これは、復興再生基盤整備事業において事業が本格化したこと、及び、地域連携道路整備事業において複数の工区で大規模工事に着手する見込みとなったことが主な要因と考えられます。

引き続き、各部局における自己点検の徹底を図るとともに、出納局とも一層の連携を図りながら、財務事務の適正化に努めてまいります。

以上です。

#### 【鈴木副知事】

報告事項について、何かありますか。

なければ、知事からお願いいたします。

#### 【知事】

総合計画審議会から、先般、意見を頂きました。

来年度で復興・創生期間は残り2年となります。これまでの取組を一層加速化させ、復興と地方創生の両輪を前進させていくことが重要です。

審議会の意見を真摯に受け止め、職員一人一人が知恵と工夫を凝らし、全庁を挙げて、来年度の施策の構築・実施に取り組んでください。

次に、先週、閣議決定された政府予算案については、あらゆる機会を捉えて本県の考えを国に訴えてきた結果であり、安倍総理、渡辺復興大臣を始め各省庁には本県の実情を踏まえた対応をしていただきました。

これは、ここにいる各部局長を始め、全庁一丸となって予算確保に向け、取り組んだ結果であります。

平成31年度は、復興・創生を更に前進させるため、挑戦を常に進化させていくことが大切です。

併せて、復興・創生期間後の体制・財源確保に向けた重要な年度ともなります。

引き続き、直面する様々な課題に着実に取り組むよう、各部局長それぞれの立場でリーダーシップを発揮してください。

#### **【鈴木副知事】**

以上で、合同会議を閉じます。